

国立療養所栗生楽園 1966年

会期.. 2023年2月4日〔土〕

4月9日〔日〕

原爆の凶丸木美術館

開館時間.. 9時30分-16時30分 (3月からは9時-17時)

休館日.. 月曜日 (月曜祝日の場合は翌平日)

主催.. 原爆の凶丸木美術館

助成.. 公益財団法人全国税理士共栄会文化財団

協力.. 国立ハンセン病資料館

地底の闇、地上の光

— 炭鉱、朝鮮人、ハンセン病 —

趙根在写真展

Cho Kunje Photo Exhibition

February 4 - April 9, 2023 | Maruki Gallery For The Hiroshima Panels



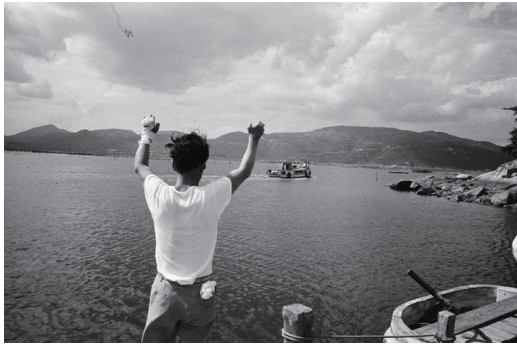
1



2



5



3



4

1. 岐阜 坑内労働 撮影年不明 2. 国立療養所多磨全生園 1961年
3. 国立療養所長島愛生園 1970年 4. 国立療養所栗生楽泉園 1967年
5. 愛知 結婚式 1965年

地底の闇、地上の光 — 炭鉱、朝鮮人、ハンセン病 —

趙 根在 写真展

Cho Kunje Photo Exhibition

趙根在（チョウ・グンジェ、日本名は村井金一／1933～1997年）は、1960年代から1980年代にかけて、国内各地のハンセン病療養所を訪ね、隔離政策によって収容された入所者、とりわけ在日朝鮮人に焦点を当てながら、病や民族の複層的な差別のなかで生き続ける人間存在に迫る写真を撮り続けました。

愛知県知多郡大府町（現大府市）に生まれた趙は、家庭の事情で中学3年生のときに亜炭鉱山で炭鉱夫として働きはじめます。地底の闇のなかで危険と隣り合わせの仕事をする日々は、地上の光への強い脱出願望へとつながっていきました。やがて在日朝鮮人の舞踏団の照明係となって全国公演に帯同し、旅の途中で熊本県の国立療養所菊池恵楓園を訪れたことを機に、ハンセン病に関心を寄せるようになります。

1961年の初夏、東京の国立療養所多磨全生園を訪ねて在日朝鮮人の入所者に会いました。「人間同士として向きあえ語りあえる写真」を撮り伝えたいと、以来約20年間、北は青森の松丘保養園から南は鹿児島星塚敬愛園まで各地の療養所に足を運び、約2万5000点におよぶ写真を撮影しました。感染、発症の可能性が低い病気であるにもかかわらず根強い差別の残る時代に、患者や回復者と分け隔てなく接する姿勢は深い信頼を寄せられ、その写真は類例のない生活記録となってあらわれました。

文芸運動の盛んな療養所において、詩人たちは出版物に趙の写真に掲載することを望みました。とりわけ、1982年に刊行された笹雄ととの共作『ライは長い旅だから』は、社会的にも大きな反響を呼びました。

その仕事に注目した記録作家の上野英信は、筑豊の炭鉱写真集の編集にあたり、趙に参加を依頼しました。1984年から1986年にかけて全10巻が刊行された『写真万葉録・筑豊』には、上野とともに趙も監修に名を連ねています。

趙にとっては、差別のなかで生き続ける人たちの姿を記録することは、自分自身も含めた人間の存在の根源的な意味を獲得する行為であったでしょう。本展では、国立ハンセン病資料館の協力を得て、趙根在の残した多様な仕事を、未公開写真を含めた約180点の写真を中心に紹介いたします。

[関連プログラム]

オープニングトーク

西浦直子・吉國 元（国立ハンセン病資料館）、岡村幸宣（原爆の図丸木美術館）
2023年2月5日（日） 14:00～（参加費無料、要入館料）

[関連書籍]

展覧会カタログ「趙根在 地底の闇、地上の光－炭鉱、朝鮮人、ハンセン病－」
会期中に刊行予定です。

寄稿：阿部日奈子（詩人）、岡村幸宣（原爆の図丸木美術館）

[交通アクセス]

◎ 電車でお越しの場合

池袋駅より東武東上線急行で約1時間（東松山駅・森林公園駅・つきのわ駅）
森林公園駅 南口より：（約3.5km）タクシー 約12分・徒歩 約50分
東松山駅 東口より：（日祝除く）4番乗り場より市内循環バス
「唐子コース」（日祝運休）約15分「丸木美術館東」で下車し、徒歩 約15分
〈バス時刻表〉 8:45、10:10、11:10、12:10、14:30、15:35
つきのわ駅より：（約2.5km）徒歩 約30分

◎ 自動車でお越しの場合

関越自動車道、東松山インターより小川方面 10分



[開館時間] AM 9:30 - PM 4:30（3月からは AM 9:00 - PM 5:00）

[休館日] 月曜日（月曜祝日の場合は翌平日）

[入館料] 一般 900円 中高生または18歳未満 600円 小学生 400円 団体（20名以上）、チラシ持参の方、60歳以上、比企地区在住者は100円割引、障のある方は半額

原爆の図 丸木美術館

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401

TEL：0493-22-3266 FAX：0493-24-8371

MAIL：info@marukigallery.jp WEB SITE：https://marukigallery.jp